

令和7年度 六実六高台地区意見交換会のテーマについて

（団体名） 松戸市高柳町会

（件名） クリーンセンターの新焼却炉建設の進捗状況と放射能汚染ごみの廃棄対応について

（具体内容）

新焼却炉建設の最新の進捗状況と地域住民が利用可能な付帯設備（会議室、ホール、災害時の避難所機能等の有無も含めて）及びクリーンセンターへのゴミ収集車出入りの経路設置計画について説明していただきたい。

また、放射能汚染ごみの廃棄に関してだが、地域住民からすると先が一向に見えない状況が長く続いている（2011年の震災発生から14年も経過している）。

廃棄までのロードマップを明確に提示していただきたい。

（回答）

・新焼却施設整備事業の進捗状況については、入札公告の準備を進めており、令和8年度中に契約締結し、令和9年度より旧施設の解体工事及び新しい施設の建設工事を行い、試運転を経て、令和16年度を目標に供用開始とする計画です。

（別紙1）

また、環境影響評価については、現地調査の結果・影響を取りまとめ、「環境影響評価 準備書」として10月に公告・縦覧及び住民説明会を開催しております。今後も引き続き、環境影響評価を進め、令和8年度に最終的なとりまとめとなる「環境影響評価書」を公告・縦覧する予定です。

・現在の利便施設であるクリーンセンター内スポーツ施設及び六実高柳老人福祉センターについては、今年度末（令和8年3月31日）で廃止し、令和9年度から解体を予定しております。新焼却施設建設に伴う新しい利便施設については、地元の方々のご意見を伺い、事業者等に対しての市場調査等を行いつつ、検討してまいります。

また、令和7年7月に六実・常盤平支所管区に在住する18歳以上の1,500人（無作為抽出）を対象に「新クリーンセンター敷地内の公園・広場等及びエネルギー利用施設に関する調査」として、敷地内に公園や広場、エネルギー利用施設を新たに整備するとした場合に、どのような施設を希望するかアンケート調査を実施いたしました。（別紙2）

・新焼却施設の搬入出車両の経路は、主にくすのき通りとし、環境影響評価では一日当たりの車両の台数を285台と想定し手続きを進めております。

（回答課）清掃施設整備課

（回答）

・指定廃棄物の処分については、放射性物質汚染対処特措法により、国の責任に

おいて処理することとされています。

- ・千葉県においては、1か所に集約して保管するという方針が国から示されており、平成27年4月に千葉市内の東京電力(株)千葉火力発電所敷地内的一部が候補地として選定されておりますが、国と千葉市との間で協議が進んでおりません。
- ・今回、松戸市からの要請に基づき環境省において再測定を実施したところ、クリーンセンター敷地内において保管している全体量の約58%にあたる約534トンについて基準値の1キログラム当たり8,000ベクレル以下となり安全に処理できることが確認できました。そのため、本年12月より順次処理してまいります。今年度は約125トンの処理を行う予定でございます。
- ・基準値の1キログラム当たり8,000ベクレルを超えているものについても、時間の経過とともに濃度が低下しますので、基準値以下となった段階で順次処理をしてまいりたいと考えております。
- ・放射能濃度については、年々低下していく性質ですが、全量が基準値の1キログラム当たり8,000ベクレル以下となるのは、計算上では、あと30年程度と長い期間が必要となりますので、本市と同様に指定廃棄物を保管している柏市・流山市・我孫子市・印西市と密接に連携し、法に基づき、国の責任において一刻も早く引き取るよう、関係者に働きかけ、強く要望してまいります。その間、万が一にも近隣住民の皆様に影響を及ぼすことのないよう、安全に保管してまいります。

（回答課）廃棄物対策課

＜新焼却施設整備スケジュール＞

新クリーンセンター敷地内の公園・広場等及び エネルギー利用施設に関する調査について

1. 目的

新クリーンセンター建設に関して、敷地内の公園・広場等のスペースや、エネルギーを活用した施設の整備について、住民の意見を把握し、今後の計画の参考とすることを目的として実施しました。

2. 期間

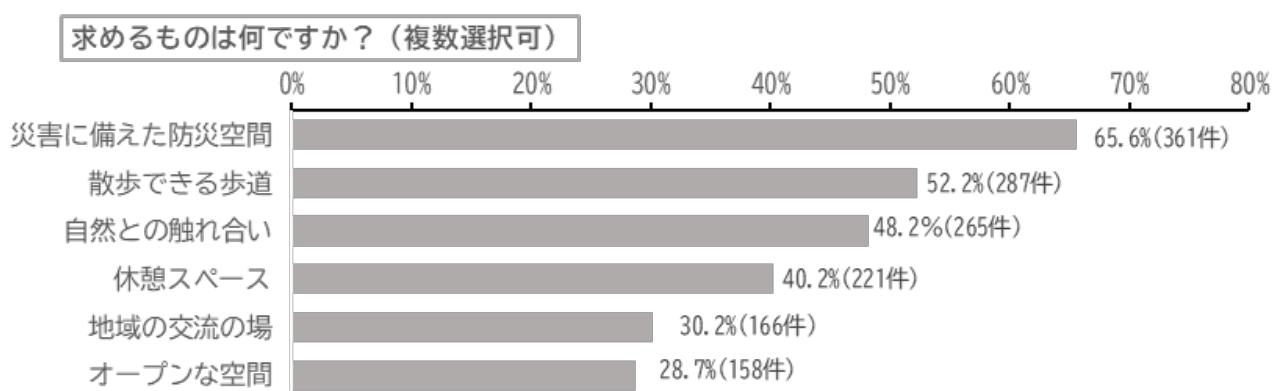
令和7年7月4日（金）から令和7年7月25日（木）まで

3. 回収結果

有効回収数 550 件（回収率 36.7%）

4. 質問及び結果（抜粋）

（1）新クリーンセンターの敷地内に公園・広場等を新たに整備する場合について



（2）新クリーンセンターのエネルギー利用施設を新たに整備するとした場合について

